♪ あるがままのこどもの姿をだいじにすること



子どもの世界に入ってみると、生れてわずか数年しかたっていないのにどうしてこんなに違うのだろう、と不思議に思われるほど、ひとりひとり個性があり、輝いています。そうした個性を丸ごと受け入れるところから保育は始まると考えています。

♪ こどもと保育者との関係が暖かであること



子どもにとって保育者は、最高のお手本であり、育つ環境を一身に体現している存在です。保育者との家族的で暖かな交流を通じて、子どもが快適で安心できる人間関係のなかで育まれるということが、子どもの成長にとって最も大切なことであり、これが保育の基本であると考えています。

♪ こどもが生活しやすい場所であること



こどもが生活しつつ学ぶところです。
子どもが家庭と同じ気持ちで生活するためには、なにが必要でなにが必要でないか、すべての選択の基準をそこにおいて保育を組み立てて行くよう努めています。